

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 和田英人
副 会 長 : 三原慎也
幹 事 : 畑中伸夫
公共イメージ : 森下 光
会報担当者 : 可児一彦・村井裕孝

2021 年度国際ロータリー会長：シェカール・メータ (Calcutta-Mahanagar ロータリークラブ・インド)
2021 年度国際ロータリーテーマ：Serve to Change Lives(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

<本日のプログラム>

第 2736 回 令和 3 年 10 月 7 日 第 1 木曜日
長期計画全体会議 野田三津雄委員長

<次回の予定>

第 2738 回 令和 3 年 10 月 21 日 第 3 木曜日
外来卓話 郡上八幡産業振興公社
尾藤 純様

<前回の記録>

第 2729 回 令和 3 年 8 月 19 日 木曜日
会員卓話 大川達也会員
西村 肇会員

坂本 仁・霜野賢一・竹内巧治・田中義久
渡邊 剛・山川直保・山下友幸

司 会 進 行 廣瀬泰輔 SAA

点 鐘 和田英人会長

ソ ン グ 我等の生業

出 席 報 告 山下友幸出席担当責任

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
39 名(免除 2 名)	30 名	5 名	35 名	94.9%

ニ コ B O X 河合 修ニコ BOX 担当責任者

- ・西村君、大川君 休み明け最初ですが、本日の卓話よろしくお願ひします。 和田英人
- ・大川君、西村君 卓話よろしくお願ひします。 畑中伸夫
- ・会長、雨の中のコンペお疲れ様でした。大川君、卓話は任せた。 西村 肇
- ・お盆に 3 人目の孫が生まれました。初めての男の子で楽しみです。そして、今日ようやく会える予定です。 酒井智義
- ・西村君、大川君の卓話 楽しみにしています。 遠藤一史・林 健吉・廣瀬泰輔・岩尾 誠 可児一彦・河合 修・川井昭司・國田大雄 松本英樹・松森 薫・三原慎也・水上成樹 村井裕孝・村土時男・長尾信幸・永瀬和郎 西川 昇・野田三津雄・大川達也・酒井智義

幹 事 報 告 畑中伸夫幹事

- ・地区事務所より 7 月分地区増強状況報告書
- ・地区事務所よりカウンセラー研修及び中間報告会中止のご連絡
- ・関 RC より東海北陸道グループ 8 月度幹事会中止のお知らせ
- ・関、関中央、可児 各 RC より例会変更と休会のお知らせ

<拝受>

- ・新湊、美濃加茂 各 RC よりクラブ活動計画書
- ・桑名北、美濃 各 RC より週報
- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」257 号
- ・岐阜ダルクより「鶴鮎つうしん」82 号

会 長 の 時 間 和田英人会長



皆さん、こんにちは。今朝起きましたら、久しぶりに青空が見えました。今日は天気が良くなるのかなと思ったら、その後外に出たら知らないうちに曇って、また雨になりました。今年の 8 月のこの天気はちょっと異常で雨が続いています。今年はこのような長い雨で大変寂しいお盆になりました。私は街中に住んでいますが、普段のお盆なら踊りとかたくさん観光客がいて大変賑わいのですが、2 年連続で郡上踊りが中止になり、自分の楽しみのゴルフや魚釣り、バーベキューなども予定していましたが、それもこの雨で中止になりました。その分家でゆっくり過

させてもらいました。大変多くの雨が降りましたが、この郡上市には大きな災害がありませんでしたので、それはよかったですと思います。ただ、この郡上市にもコロナの感染が広がりつつあります。これで天気が良くてこのお盆に各地で色々なイベントが行われていたら、もっと感染拡大していたかもしれません。コロナの感染にとっては、この天気でよかったのかもしれませんが。オリンピックもお盆も終わったので、コロナも終息に向かってくれればいいなと思います。ロータリーでも例会やその他の活動が中止になる可能性もあります。今後は、コロナの動向を考慮しながら例会変更などもあるかもしれませんが、よろしくお願ひします。私自身このコロナ感染に対して気の緩みが出てきていました。今一度気を引き締めて感染対策をしていきたいと思ひます。皆さんも十分に気を付けて感染対策をして下さい。

それから、前回の例会後に社会奉仕委員長の岩出さんと、今年度も予定していました郡上踊り実行委員会への支援金の授与に行ってきました。急なことでしたが、公共イメージの森下さんと他にも田中さんにご無理を言ってご協力頂きました。ありがとうございました。

会 員 卓 話 大川達也会員



今年度卓話のトップバッターにご指名頂き、ありがとうございます。今回自分にとって3回目の卓話になります。今回は自分の職業である「解体」について話をさせていただきます。当社では解体と産業廃棄物を取り扱っており、比率でいうと7対3で解体の比率が高くメインとなっています。解体とは建物の全部、または一部を取り壊す仕事で、皆さんの解体のイメージという、片付け仕事とか最後の始末仕事というのがほとんどだと思います。しかし、これが今日の卓話の結論となりますが、私はこの解体を「始まりの仕事」という風に捉えております。それは、解体をする理由を見ますと、一番件数が多いのが新築への建替えによる解体です。建築会社からの発注によるものが年間受注件数のほとんどを占めています。基本的に新しい家を建てるには、まず初めにそこに建っている古い家を解体して更地にして、そこに家を建てていきます。言い換えれば、解体をしなければ次の「建てる」という作業が始まりません。なので解体は、新しい建物を建てる始まり＝解体は始まりの仕事と捉えています。どんな仕事でも始まりや取り掛かりが大事で、もし取り掛かりの解体で工期が遅れたりミスをする、それだけ工事全体に響いて、依頼主はもちろんのことその後の様々な施工会社にも迷惑をかけるので責任は重大です。そして2位は、家主が亡くなったとか店舗が閉店になり、建物がいらなくなって解体

をする。3位が不動産屋からの発注によるもので、建物付きの土地を更地にして売買するために解体をする。4位が道路の拡張工事で立ち退きになって解体をする。5位が災害にあって解体をする、特に火事被害建物は毎年必ず冬に何件か依頼があります。以上が解体をする理由でした。

では次に、日本の解体の歴史を見ていきます。まず、明治時代以前は解体業という職業は存在せず、主に親族、近隣住民、大工が総出で解体を行っていました。実際、一部の山村部では最近までこうした解体が行われていた地域もあり、郡上市でも昭和末期までは普通に行われていたそうです。そして、明治時代になると解体専門業者が登場します。当時は当然重機なんて物は存在しないので、掛矢(かけや)と言われるような大型の木槌やパール等の工具を使って手作業で解体を行っていました。また、この頃の解体の特徴として、現在は依頼主が解体業者にお金を支払って工事を行いますが、当時は逆に解体業者が依頼主にお金を支払って工事を行っていました。では、解体業者は一体どこで儲けていたかというと、当時、建築資材は大変貴重なものだったので、解体で出た資材を大工や資材屋へ売って利益を得ていました。その後1970年代になり重機を使った解体が登場します。ショベルカーやクレーンを使って解体を行うことによって、作業効率が飛躍的にアップしました。しかし、まだまだ世間では解体が職業という認識はほとんどなく、認識されるようになったのは1990年代に入ってからでした。この頃、解体が職業として認識されるようになった理由は、環境汚染や不法投棄がクローズアップされるようになったということと、高度経済成長期に一斉に建てられた建物が建替え時期を迎えて、解体の軒数が急激に増加したというのが要因でした。そして2003年、解体業の在り方を根本からひっくり返されるような大規模な法改正がありました。それが建設リサイクル法の改正です。この法改正によって、今まで解体で出た発生材は全てゴミとして処分していたものを、リサイクルしなければならなくなり、その結果これを境に解体工事の方法が180度切り替わっていくことになりました。

それでは次に解体の方法です。まず、建設リサイクル法の改正前はどんな解体方法だったかというと、ミンチ解体といって最初から最後まで全ての作業を重機を使って行い、木、ガラス、プラスチック、金属、コンクリートなどを分別することなく重機で建物ごと細かく砕いてミンチ状にしたものをそのまま積んで運び出すという原始的な方法でした。それが法改正後は分別解体に切り替わり、建物の骨組みと基礎以外の部分は手作業での解体が義務付けられました。手作業が広がることによってゴミを分別できるようになり、ほとんどのゴミがゴミでなくなりリサイクルできるようになりました。一般的な木造住宅の分別解体の手順

を説明します。まず着工7日前までに解体の届け出を行います。そして着工となり、まず初めに重機や車の侵入に支障となる門や塀、庭木、庭石などがあれば撤去します。そして本体に取り掛かり、まず内部の畳、建具、天井、壁を手作業で解体します。次に、屋根に上って手で瓦をめくって下していきます。ここまでの作業で建物は、ほぼ骨組みと基礎だけの状態となり、ここから重機を使って骨組み、基礎の順番で解体をし、整地をして最後に依頼主に確認をしてもらい完了です。法改正によって解体の方法が切り替わりましたが、ミンチ解体を行うこともあります。それは、どちらの方法にもメリット、デメリットがあるため、二つの方法の良いところ取りで行っています。

次に、解体物件の種類ですが、大きく分けて3種類あります。まず木造で、日本の住宅の約6割がこれで、当社の受注率でも9割以上が木造の解体です。次に鉄骨造で、工場や商業施設によく使われています。そして最後に鉄筋コンクリート造で、ビル、マンション、学校、公共施設によく使われる構造です。

次はやっかいな解体物件で、こういう依頼が来るとちょっと困るなという物件ベスト3です。第3位が長年放置された別荘で、獣や虫の住処となっていることが多く、これらの駆除に大変苦労します。第2位が違法建築物で、もともとあった建物の上や隣に勝手に建て増ししてしまったような場合で、このような建物は構造が脆く倒壊の恐れがあるので、工事中は細心の注意を払います。そして第1位がゴミ屋敷です。今までどんな依頼があっても断ったことはありませんでしたが、唯一去年断った物件がゴミ屋敷でした。玄関に入った瞬間から強烈な臭いがして、中に3分いることもできませんでした。廊下は足の踏み場もなく、天井近くまでゴミが積み上がった部屋もあり、台所も調理するスペースすらありませんでした。でも驚いたことに、家主はこの家で普通に生活をしていました。さすがにこの状況では作業をする従業員が耐えられないだろうと判断し、その場で丁重にお断りさせて頂きました。

解体という仕事に携わっていると色々な家主に出会います。我が家の解体に全く無関心で、最初から最後まで一度も現場に顔を出さない家主もいれば、中には最初から最後までずっと現場に張り付いて、徐々に解体されていく我が家を寂しそうに見届ける家主もいます。家の柱に子供の成長記録が記してあったり、壁には「長い間ありがとうございました。」などの家に対する感謝の言葉が記してあったこともありました。やはり長年暮らした家というのは、家族にとっての人生そのものです。それを考えると、ただやみくもに解体をするのではなくて、丁寧に心を込めて作業をしなければという使命感が湧いてきます。どんなに心を込めて丁寧に解体という仕事をしたところで、そ

れが形として残ることはありません。しかし、解体は始まりの仕事です。家族にとっての新しい住処を建てる始まり、そして、家族の新しい人生の始まりをも請け負っているということを忘れずに今後も解体という仕事に向き合っていきたいと思えます。最後までご清聴ありがとうございました。

会員卓話 西村 肇会員



今日の卓話は、私の趣味の話を見せて頂きます。私のプロフィールの趣味の欄に「ゴルフ」とありますが、最近ゴルフは趣味ではないかと思いはじめました。というのも、4年前から一緒にゴルフをしている知人が凄く上達して、先日私は完膚なきまでに叩きのめされましたので、これはもう趣味じゃないなと思いました。他に何か趣味はないかなと考えてみました。最近、毎朝仕事のテンションが上がらないのでどうしようかと思い、YouTubeで音楽を聴きながら仕事をしたらテンションが上がるかなという思いで自分の好きな音楽が何か考えました。うちの妻には、あなたの好きな音楽はみんなが楽しめるような音楽じゃないと言われました。そう言われると二人で車に乗る時にCDをかけるわけにもいかず、常にラジオでごまかしています。先日、大滝詠一さんの「A LONG VACATION」という40年前のLPをCDにした特別バージョンが出たので妻に頼んで手に入れましたが、やはり興味なさそうだったので一人で車に乗る時に聴こうと思いました。私の好きな音楽というと、フュージョンなどの歌詞のない音楽なのでカラオケに行っても歌うことができません。妻もそうですが、私も演歌に興味がなく聴かないので、やはりカラオケでは歌う歌がありません。

ここで、私が毎朝聴いている曲を聴いて下さい。バブルの頃、F1や鈴鹿で行われていた8時間耐久のバイクレースが流行っていた時の曲です。

以下 T-SQUARE 「Truth」鑑賞